

きょうと福祉倶楽部だより

2008年12月号



こんにちは、また寒い冬がやってきましたが皆様いかがお過ごしでしょうか？
お変わりありませんか？

本当に長い間お休みしてしまい、すみませんでした。

あっという間に師走ですね、皆様はどんな一年でしたか？

この一年いろんな事がありました。

社会のニュースには、動機のはっきりしない無差別殺人や、さまざまな犯罪・・・
景気の低迷する中、すさんだ心が悪循環を引き起こし、将来にも希望を持ちにくい
現状です。

こんな時こそ気持ちだけは明るく！！前向きに楽しく生きていこうと・・・

この一年振り返り改めておもいました。

久しぶりのおたより。

まずは冬のお楽しみ（＾＾）♪クリスマスに簡単に作れるデコレーションケーキ
ブッシュドノエルのレシピを紹介します。



◆ブッシュドノエルのレシピ◆

【ブッシュドノエルの材料】

市販のロールケーキ 1本
生クリーム 50g
グラニュー糖 5g
チョコシロップ 10g
ココアパウダー 5g



1. 生クリーム、グラニュー糖、チョコシロップをボールに入れて泡立てます。
2. ロールケーキの両端を斜めに切って枝の部分を作る。
3. 枝の部分をロールケーキとくっつけます。
3. (2.)に(1.)を塗ります。
4. (3.)の表面にフォークで木の模様をつけます。
5. 最後にココアパウダー＆粉砂糖をふって完成です。

かなり簡単なレシピですが、見た目も Good ですよ！！

切り株のような可愛いケーキにみんな大喜びです☆
チョコを混ぜないで白いケーキにしてもいいですね。

市販のお菓子で飾り付けしたり、アレンジも自由です。
きのこの山とかアレンジに使えますね♪

簡単なレシピです。誰でも気軽にお菓子作りが
楽しめるのもブッシュドノエルの魅力ですね。
クリスマスケーキはブッシュドノエルで決まり！

ガイドヘルプで思ったこと

(Y.K ヘルパー)

ガイドヘルプに行ってきました。

利用者の A さんは車椅子での外出です。

行き先はとある大型ショッピングセンター。

とても楽しみにされていると聞いています。

自宅を出発。最寄りの駅に到着するとエレベーターを
使って改札口→ホームとスムーズに電車に乗ることができました。



大きな駅はエレベーターなどの設備も整っていてとても便利です。

昼食は A さんの大好きなマクドナルドのポテト。

お口いっぱいにはおぼって嬉しそう。

満足されたのかだんだんと元気も出てきました。

その勢いで商店街を見て廻りました。

車椅子の外出は思っていたよりずっと大変です。

一見、まっすぐに見える道路も斜めになっていたり、段差や
登り下りの坂もあります。なるべくそういった道を通る際、衝撃が
少なくなるように心がけています。

ガイドヘルパーをして初めて気がついたことがあります。

それは車椅子専用トイレに大人用のベッド付きトイレが少ないこと
です。

人にやさしい環境が整って障がいを持った方たちも自由に外出できる
社会にするため、私たちひとりひとりもっと考えていかなければなら
ない問題のように感じました。

あなたの声 投稿お待ちしております♪

毎月、みなさんの身近に起こったエピソードやイラストを募集して
います

こんなこと知って欲しい、やってほしい、ご意見、ご感想 etc・・・
来年に向けての豊富や目標でもなんでも OK です（＾＾）

イニシャル 匿名希望 OK きょうと福祉倶楽部 おたより係まで



普通の生活ができていますか

誰もが普通の生活が保障できる時代を

「おにぎりが食いた〜い」と日記に書き残してまだ：56才の男性が北九州市で餓死をしたのは昨年7月のことです。北九州市の福祉事務所に生活保護法の規定を守らないで無理矢理保護の辞退届を男性に記入させ、違法に生活保護を廃止した末の悲劇です。

そして今年は浜松市でホームレスの女性がなんと市役所の庭で絶命されました。

これはすべて豊かな国、日本で起こった事です。

憲法25条を持ち「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有す」と宣言しているこの日本で現実に起こっている出来事なのです。

北九州の事件も浜松市の事件も行政が法令を遵守していれば尊い命は失われずにすんだのです。なぜ、法令遵守義務があり、憲法では「国民全体の奉仕者」と規定されているのに大切な市民の命を奪うようなことが市職員の手で起こされているのでしょうか。

様々な要因が考えられるとは思いますが、その源流は今の政治が「富を生み出す者」のみに価値があるという姿勢で営まれているからではないでしょうか？富を生み出し、そしてそれで得たお金で福祉サービスを購入しなさいと言うのが現在の福祉制度の構造です。

だから国は社会福祉分野にも「受益者負担」を持ち込みました。このことによって富を生み出せない、負担能力のない人たちには福祉サービスから閉め出されています。

健常者や若者は自分で生活は維持できます。しかし、障がいを持つ方が自分の力だけで生活を維持出来ない場合、それを補ってもらい「普通の生活」に近づくことがどうして「受益」なのでしょう？

誰にも保障されるはずの「健康的な文化的な最低限度の生活」を身近に引き寄せるための福祉サービスの利用が「受益」であり、サービスを購入しなければならぬならば、購入能力のない人間は普通の生活をする資格がないという事になります。今の制度設計では、購入が出来ない層は人間らしい生活は維持できないのです。

前述の生活保護を違法に廃止された男性も病気で働けず、富を生み出せない事があたかも許されない事であるとの価値観に行政がたち、福祉事務所のケースワーカーが保護の廃止を行う事が福祉事務所の仕事と思い込んだ結果の悲劇です。そうした間違った理解にもとづき職員が仕事に励んだ結果必然的に起こったのです。

これらの事件は特異なもので、私たちが生活する乙訓地域では起こってないのでしょうか？

私たちの事務所この場所で福祉相談やホームヘルパーやケアプランの作成を初めてはや5年になろうとしています。その間に受けた相談の中にも、様々な行政による人権問題が見られました。浜松や北九州の事件は決して特別なものではありません。

私たちの住んでいる町でも、程度の差こそあれ現実に起こっているのです。これまで私たちが扱った事例については一つずつ解決をさせていただきましたが、まだまだ多くの問題が積み残されています。

困難な課題にも私たちはこれまで培ってきた、法律家や心ある福祉労働者、公務労働者などの友人達のネットワークを大切にして立ち向かっていく決意です。

また、私たちが声高に叫ばなくても「ふつうの生活の出来る」人権が大切にされる当たり前の社会が一日も早く生まれることをねがってやみません。時代は空前の不況の嵐です。今こそ社会福祉の原点に立ち返らなくてはなりません。でなければ、悲劇は拡大し、再生産されるでしょう。

有限会社 おとくに福祉研究所

きょうと福祉倶楽部

〒617-0824

長岡京市天神4丁目7-12 ハイッ東台101号

TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808

E-mail kyoto-care@club.email.ne.jp

